

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	総合実地演習 1	
科目基礎情報							
科目番号	0025			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械電気工学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	就業機関の指示による。						
担当教員	垣内田 翔子						
到達目標							
社会や大学での体験を通じて、今後の高専生活の過ごし方を考える。また、学生生活の意義と目標を確かなものにし、就職や進学の手掛かりにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		企業評価が優である。		企業評価が良である。		企業評価が不可である。	
評価項目2		実習内容を分かりやすく説明でき、内容がまとまっている。		実習内容がある程度説明でき、内容がほぼまとまっている。		実習内容が説明できておらず、内容がまとまっていない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 C 2							
教育方法等							
概要	実社会での就業や大学における研究等を体験することにより、これまで学校で学習してきたことの反省と、今後何をすべきかを考えるきっかけとする。						
授業の進め方・方法	夏季休業中の1週間程度で、各修業機関の指示に従った研修を体験する。また、その成果を報告する。						
注意点	本科目の履修に関する条件および手続きの詳細は別に定める。履修した学生は、事前のマナー講習の受講と事後の発表会での発表が必須である。 【評価方法】 最終評価＝実習先評価(70%)＋発表(10%)＋レポート(10%)＋態度(10%)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	実地演習の説明		総合実地演習の意義を理解することができる。 マナー講習によって、社会人マナーの基本をロールプレイングできる。態度(5%)		
		2週	実地演習先の調査・希望 7月上旬までに学級担任と相談の上、決定する。		事前提出書類を作成することができる。態度(5%)		
		3週	就業先機関の(企業、公的機関および大学)の指導担当者の指示による実習。		就業先機関の指示に従い、実習を行うことができる。 実習先評価(70%)		
		4週	研修終了後は、成果報告書(別に定める)を提出する。		成果報告書を作成することができる。レポート(10%)		
		5週	発表会の開催		報告発表を行うことができる。発表(10%)		
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	実習	発表	レポート	態度	合計		
総合評価割合	70	10	10	10	100		
基礎的能力	40	5	5	5	55		
専門的能力	20	3	3	3	29		
分野横断的能力	10	2	2	2	16		